

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)栗山町賃貸マンション	階数	地上10F
建設地	兵庫県姫路市栗山町118番、119番	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	72人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2022年7月30日
敷地面積	748㎡	作成者	高室
建築面積	383㎡	確認日	2022年7月30日
延床面積	3,168㎡	確認者	高室



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.4

3 設計上の配慮事項

総合	その他
居住性の向上ということに視点を置き、デザイン・機能をよくする配慮をしています。	特になし
Q1 室内環境 全住戸メインバルコニーを南面に設け、多くの日照を得られるように配慮した。	Q2 サービス性能 適切な配管材料の選定により、更新間隔の長期化を図る。
Q3 室外環境(敷地内) 街並みとの調和を図るため、色彩計画に配慮した。	LR1 エネルギー 建物の断熱性能を高め、熱負荷の抑制を図る。
LR2 資源・マテリアル 建築材料は全面的にF☆☆☆☆を使用し、可能な限り化学汚染物質の抑制に努める。	LR3 敷地外環境 適度な外構照明計画とし、光害の抑制、省エネに寄与する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される